資料　No. 1

平成３０年度　岡谷市教育委員会基本方針（学校教育）

■　『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げた教育理念のもと、少子高齢化、グローバル化が進む現代社会の中で、一人ひとりの個性、人格、人権を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を推進し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

更に、知識を基盤としながら、思考力・判断力・表現力などの知識を活かす能力を高め、自ら主体的に学び、たくましく生き抜くことのできる力を養います。

■「学校教育　５つの重点」

１　地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

- 地域に息づき、根付く学校「岡谷版コミュニティスクール」の充実
- 魅力と活力に溢れる特色ある学校づくり、チーム学校の実践
- 地域とつくる学校、地域と共にある学校づくりの推進

２　ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の推進

- ものづくりなど、地域資源を活かした普遍的な学習「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践
- 岡谷の『ひと・もの・こと』に誇りと自信を持つ「ふるさと教育」の推進、郷土を愛する心の醸成

３　笑顔で安心して学べる教育環境の整備

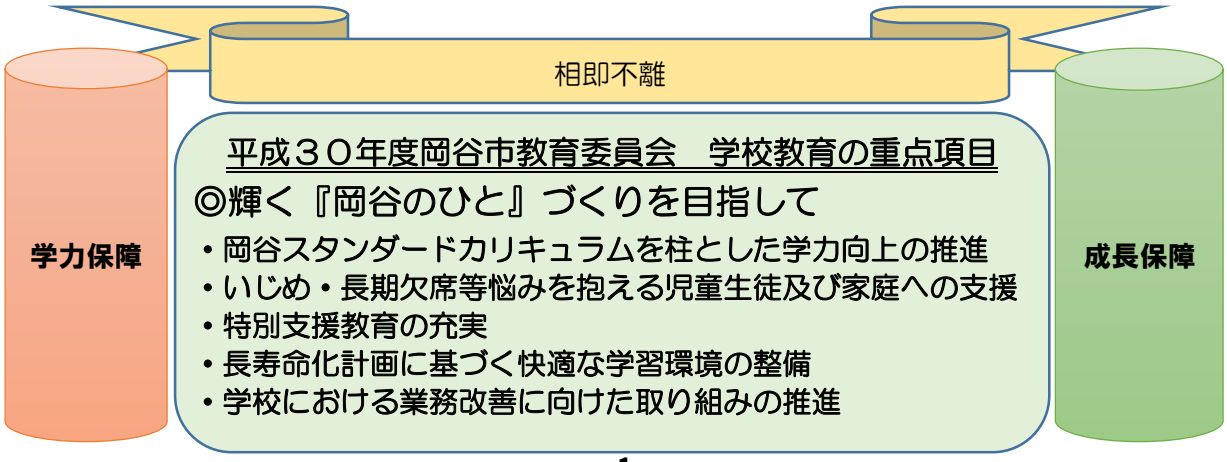
- 一人ひとりの特性に合わせた学校生活支援、小・中学校と幼稚園・保育園との連携
- 小・中・高の枠を超えた連続的、横断的な教育支援体制の構築
- 子どもたちによる「いじめ根絶運動」の取り組みの継続
- 地域との連携による、笑顔で安心して学べる、安全・安心の教育環境の提供、防災教育の充実

４　確かな学力保障と成長保障を図る授業改善

- 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- ユニバーサルデザイン化を軸に「わかる、できる」授業の実施、家庭学習の工夫を通じた学力向上
- 全員が力を発揮し、認め合える学級づくり、一人ひとりの子どもに合わせた特別支援教育の推進

５　「自立と共生」につながる教育活動の充実

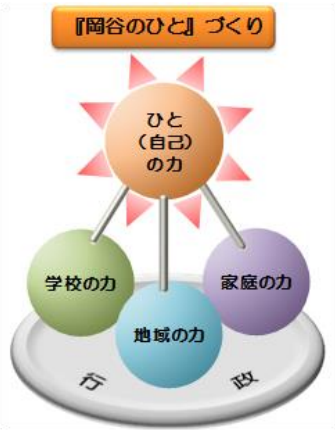
- 生き抜く力を育む教育、道徳教育、心の教育の充実
- 将来の目標と学業を結び付けるキャリア教育の推進
- アクティブ・ラーニング、ソーシャルスキルトレーニング(SST)、ピア・サポート・プログラムの実践
- 自立と共生につながる教育活動の充実、児童生徒会の自治推進



平成３０年度　岡谷市教育委員会基本方針（生涯学習）

■ 『生涯学習スローガン』

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり



おかや子育て憲章と岡谷市教育大綱及び第５次岡谷市生涯学習推進計画に掲げた教育理念のもと、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

「岡谷のひとづくり」を推進するため、生涯学習分野におけるめざすひとづくりの姿「人間像」を、『歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり』とし、次の４つのポイントに重点的に取り組みます。

■ ４つの重点ポイントと施策

１　「地域に学び貢献する」生涯学習

- 市民一人ひとりが「住んでいる地域を自分たちの手で守り育てる」意識を高めます。
- 地域独自の文化の継承による「学びの循環」、「学びの輪」を育みます。
- 地域に学び貢献する意識の醸成を図ります。

２　「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

- シルクなどのまちの文化や歴史を学び、ふるさとに愛着と誇りを持つ心を醸成します。
- 大人から子どもへの語りかけなど、世代間の連帯により「地域力」を高めます。
- 潤いのある心豊かな人を育むため、郷土に根ざした芸術、文化の振興を図ります。

３　「未来を担う青少年を育む」生涯学習

- 青少年の健全育成と自立を支援するため、学校、家庭、地域、行政が連携します。
- 各世代にわたり自主的主体的な地域活動やボランティア活動への参画を促します。
- 子どもたちが心豊かに成長できる環境づくりを推進します。

４　「親力、家庭力を向上する」生涯学習

- 温かく安らぎのある家庭の中で、子どもたちを人間性豊かに育てます。
- 学校、家庭、地域、行政が連携しながら、親力、家庭力の向上を図ります。
- 子どもと保護者の関わり方、家庭での学ぶ力など、家庭教育の充実を図ります。

■ 第５次岡谷市生涯学習推進計画に基づく平成３０年度の重点項目

《計画の基本理念》　生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち

《計画の指針》　地域力と家庭力の向上　／　ともに学び支えあう　／　ふるさとへの愛着と誇り

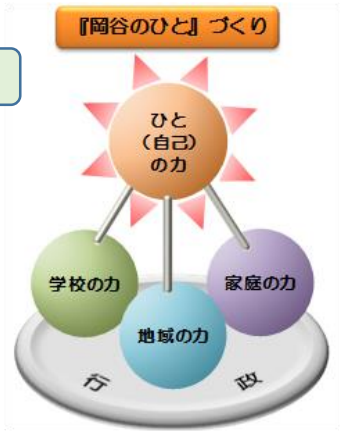
平成３０年度岡谷市教育委員会生涯学習の重点項目

- 「岡谷子ども未来塾」での地域住民による中学生への学習支援
- 地域の子どもを地域で育てる「放課後子どもの居場所づくり事業」の充実
- 美術考古館「開館５周年記念事業」
- 「縄文文化探検ツアー」と「旧林家住宅改修」による文化財の活用と保存
- 「第３次岡谷市子ども読書活動推進計画」の策定
- ふるさとを誇りに思う生涯学習の推進

平成 30 年度　岡谷市教育委員会基本方針（スポーツ）

■　『スポーツスローガン』

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり



岡谷市教育大綱の教育理念のもと、岡谷市スポーツ推進計画に基づき、子どもから大人まですべての市民がスポーツを好きになり、生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを通じて地域が一体化し、活気溢れるまちづくりを推進します。

また、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、市民ひとり１スポーツの実現に努めるとともに、子どものスポーツ機会の充実を図り、成長期に合わせた効果的な施策の展開により、たくましい心と体を育みます。

■「スポーツ　５つの重点」

１　市民ひとり１スポーツの実現

・市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ団体等と連携しながら、各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図ります。
・適切な指導ができる指導者の養成に努めるなど、スポーツの安全確保に努めます。

２　競技力の向上

・全国大会等の誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。
・全国的な舞台で活躍できる選手の育成支援、並びに、スポーツ指導者の養成を推進します。

３　子どものスポーツ機会の充実

・学校体育活動の充実をはじめ、成長期に合わせた体力向上策を推進します。
・スポーツを行うきっかけづくりのため、多様なスポーツ機会の充実を図ります。

４　スポーツによるまちづくり

・恵まれた施設や環境を活用し、スポーツを通じた地域交流や人材育成を推進します。
・スケート、バレーボールによるまちづくりの推進と、エースドッジボールの普及促進を図ります。

５　スポーツ環境の整備・充実

・安全で快適なスポーツ活動に取り組めるスポーツ環境の整備、充実に努めます。
・市有施設の効率的管理と有効活用の推進、情報提供に努めます。

岡谷市スポーツ推進計画基本理念

スポーツ大好き　いきいき　おかや

平成 30 年度岡谷市教育委員会　スポーツの重点項目

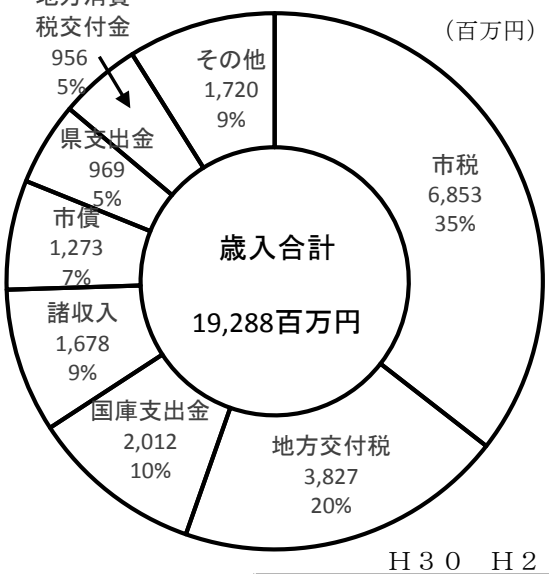
・「スポーツきっかけづくり事業」の推進による市民ひとり１スポーツの実現
・「おかやキッズ運動大好き事業」の推進による運動能力の向上と運動好きな子どもの育成
・各種スケート教室などの事業によるスケート文化の継承と競技力の向上
・市営庭球場の人工芝の修繕をはじめ安全快適なスポーツ施設整備の推進

２．教　育　委　員　会　所　管　予　算

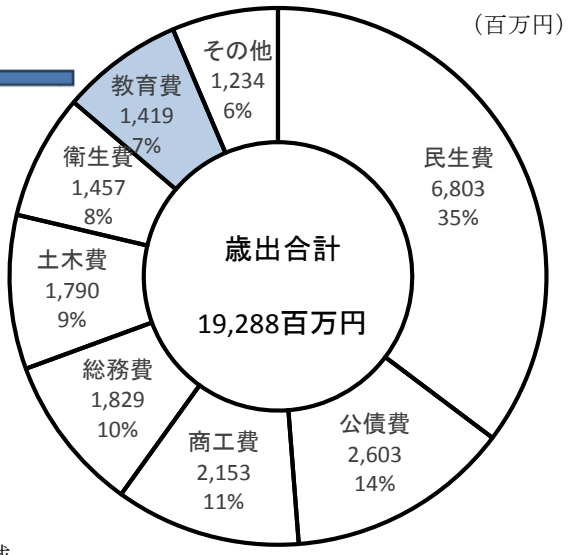
（１）平成３０年度岡谷市一般会計当初予算

歳 入・歳出予算　　１９２億８，８００万円
（前年　　１９７億１，０００万円）

【歳入予算額構成比率】



【歳出予算額構成比率】



	Ｈ３０	Ｈ２９	増減
民　生　費	6,803	6,970	△ 167
公　債　費	2,603	2,680	△ 77
商　工　費	2,153	2,469	△ 316
総　務　費	1,829	1,781	48
土　木　費	1,790	1,557	233
衛　生　費	1,457	1,592	△ 135
教　育　費	1,419	1,511	△ 92
そ　の　他	1,234	1,150	84
合　　計	19,288	19,710	△ 422

	Ｈ３０	Ｈ２９	増減
教育費	1,419	1,511	△ 92
教育総務費	326	307	19
小学校費	383	487	△ 104
中学校費	222	215	7
社会教育費	275	278	△ 3
保健体育費	213	224	△ 11

「岡谷市教育大綱　教育理念」

☆自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり☆

平成３０年度　教育委員会関係主要事業予算

新	◎チーム岡谷による学力推進事業	10,880 千円
	◎第42回全国高等学校総合文化祭「2018信州総文祭（放送部門）」開催事業	879 千円
新	◎ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業	2,553 千円
	◎子ども総合相談センター事業	14,190 千円
	◎特別支援教育推進事業	5,152 千円
拡充	◎外国語授業支援事業	23,994 千円
新	◎学童クラブ室環境快適化事業	2,700 千円
新	◎岡谷子ども未来塾（放課後の中学生学習支援事業）	1,506 千円
新	◎美術考古館会館5周年記念事業	1,904 千円
新	◎読書活動推進事業（第3次岡谷市子ども読書活動推進計画の策定）	14,274 千円
新	◎図書館はつらつ来ぶらり	マンパワー事業
新	◎縄文文化情報発信事業「岡谷・下諏訪親子縄文探検ツアー」	3 千円
	◎旧林家住宅保存改修事業	3,000 千円
	◎スポーツきっかけづくり事業	3,164 千円
	◎おかやキッズ運動大好き事業	2,240 千円
	◎おかやスケート振興事業	3,781 千円
	○通学路交通安全対策事業（土木費　計上）	15,000 千円

平成３０年度　教育部主要事業

第１０款　第１項　第２目　事務局費　　［予算書　Ｐ120～Ｐ123］

【教育総務課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
通学路交通安全対策事業	・平成２７年度に実施した、第２次通学路合同点検に基づき、対応が必要と判断した小学校の通学路４９箇所について、安全対策を計画的に進める。 ・平成３０年度は、市道１７箇所の安全対策を実施する。 ・岡谷市通学路交通安全プログラムに基づき、道路管理者、学校、ＰＴＡ、警察署等関係機関により、第３次通学路合同点検を実施し、安全対策の総合的な検討、協議及び調整を行う。	※土木費にて計上 （１５，０００）
〔新〕チーム岡谷による学力向上推進事業	・教育課程や学習指導等学校教育の専門的な指導が行える指導主事を配置し、現在配置している学力向上アドバイザーと連携して、各学校の学力向上に向けた取組に対して助言・指導等を行い、児童生徒の学力向上を図る。	１０，８８０
第４２回全国高等学校総合文化祭「２０１８信州総文祭（放送部門）」開催事業	・高校生に芸術文化活動の場を提供し、創造的な人間育成を図るとともに、生徒相互の交流・親睦を図ることを目的として県内で開催する「第４２回全国高等学校総合文化祭」において、岡谷市では、カノラホールを主会場に放送部門を開催する。 　会場を訪れる多くの参加生徒等に関係課と連携し、岡谷市をＰＲする取り組みを行う。	８７９

〔新〕ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業	・地域資源を活用した岡谷ならではの学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践を通して岡谷の『ひと・もの・こと』に学び郷土を愛する心の醸成を育む「ふるさと回帰」の教育を推進する。学校を核とした地域創生に向け、地域と学校が連携・協働して岡谷のひとづくりを進める。	２，５５３
「子ども総合相談センター」事業	・関係機関、幼保小中との連携を図りながら、長期欠席児童生徒の対策や就学支援など、子育て・子育ちに関する総合的な相談支援をチームで行う。 ・正規職員２名、嘱託職員５名 ・ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ　１名 ・心の教室相談員　４名	１４，１９０
特別支援教育推進事業	・地域の教育的資源を有効活用しながら、特別支援教育の充実を図り、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を推進する。 ・岡谷田中小学校のLD等通級指導教室に引き続き複数の職員を配置する。また新たに岡谷西部中学校へLD等通級指導教室を設置し、多様な学びの場の整備を図る。	５，１５２

第１０款　第２項　第２目　　教育振興費　　［予算書　Ｐ124～Ｐ125］

【教育総務課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
教育振興事業	・就学援助費　24,229 ・特別支援教育就学奨励費　2,616	２６，８４５

第１０款　第３項　第１目　学校管理費　　［予算書　Ｐ124～Ｐ125］

【教育総務課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
〔拡充〕 外国語授業支援事業	・平成３３年度から全面実施となる新学習指導要領に対応するため、小学校の外国語教育が平成３０～３１年度にかけて移行期間として段階的な導入が始まり授業数が増えることから、外国語の授業支援を行うALTの時間数を増やし支援するとともに、英語支援アドバイザーを派遣し教員の資質向上と不安解消を図る。 ・外国語授業派遣委託料　22,784千円 ・英語支援アドバイザー派遣委託料　1,210千円	２３，９９４

第１０款　第３項　第２目　教育振興費　　［予算書　Ｐ124～Ｐ125］

【教育総務課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
教育振興事業	・就学援助費　17,656 ・特別支援教育就学奨励費　2,063	１９，７１９

岡谷市育英基金

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
奨学金貸付金	・大学進学者への入学準備金及び大学・短大・専修学校等進学者への奨学金貸付制度 ・卒後帰郷者に対する一部免除制度及び医師養成課程進学者に対する免除制度により、地域を担う人材確保につなげる。	４１，０４８

第１０款　第４項　第１目　社会教育総務費　［予算書　Ｐ126～Ｐ127］

【生涯学習課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
人権教育推進事業	・人権講座を公民館の学級等へ盛り込むことで、多くの市民が人権について学べる機会を作る。	１０１

第１０款　第４項　第２目　放課後子ども健全育成費　［予算書　Ｐ126～Ｐ127］

【生涯学習課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
〔新〕学童クラブ室環境快適化事業	・夏場の高温対策として学童クラブ室にエアコンを設置する（川岸小学校学童クラブ、神明小学校第２学童クラブ）	２，７００
〔新〕岡谷子ども未来塾（放課後の中学生学習支援事業）	・中学２年生を対象に、苦手教科の解消や勉強の習慣づけ、学習意欲の高揚を図るため、教員ＯＢなどの地域人材を活用し、放課後に学習支援を行う。	１，５０６

第１０款　第４項　第３目　公民館費　［予算書　Ｐ126～Ｐ127］

【生涯学習課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
公民館事業	・湊、川岸、長地の３公民館の適正な利用のため施設の管理及び維持を行うとともに、地域の学びを通じて知識を深めたい市民に学習の機会を提供し、施設の利用促進と生涯学習の充実を図る。	３７，５９５

第１０款　第４項　第４目　　美術考古館費　　［予算書　Ｐ128～Ｐ129］

【美術考古館】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
〔新〕美術考古館開館５周年記念事業	・開館５周年を記念し、来館者がより質の高い芸術･文化作品に触れることのできる様々なジャンルの特別企画展を開催する。 ・「生誕100周年早出守雄展」生誕100周年を記念し早出守雄と教え子の作品を展示する。 ・「県展を支えた岡谷の巨匠展」県展70周年にあたり審査員等で県展を支えた岡谷の作家の作品を展示する。 ・「若手アーティスト育成展示」岡谷市に関わりのある有望な若手作家を公募し活動を支援する。 ・「生誕110周年野村千春展」生誕110周年の記念展を開催する。 ・「燃え上がる火焔土器展」燃え上がる炎と水煙の紋様の縄文土器を展示する。 ・「縄文の顔大集合展」国重要文化財の顔面把手付深鉢形土器をメインに特色ある顔面の土器や土偶を展示する。	１，９０４

第１０款　第４項　第５目　生涯学習活動センター費　［予算書　Ｐ128～Ｐ129］

【生涯学習活動センター】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
生涯学習活動センター事業	・生涯を通じて、豊かな心を育むため各種講座等を実施し、学習活動への参加促進と学習機会の充実を図る。また、誰もが集い学べる場として利用しやすい生涯学習館の管理、運営を行う。さらに、青少年健全育成のための各種事業を実施する。	４２，０３６

第１０款　第４項　第６目　図書館費　　［予算書　Ｐ130～Ｐ131］

【図書館】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
読書活動推進事業 〔新〕（第３次岡谷市子ども読書活動推進計画の策定）	・図書資料の充実に努めるとともに、読み聞かせなどの事業を展開し読書活動の普及推進を図る。また、第3次岡谷市子ども読書活動推進計画を策定する。	１４，２７４
〔新〕図書館はつらつ来ぶらり	・閉じこもりがちな高齢者が気軽に図書館を訪れるよう「いきいきライフコーナー」を設置し、「シニア図書館利用講座」を開催する。	マンパワー事業

第１０款　第４項　第７目　文化財保護費　［予算書　Ｐ130～Ｐ131］

【美術考古館】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
〔新〕縄文文化情報発信事業「岡谷・下諏訪親子縄文探検ツアー」	・身近な地域にある縄文遺跡を親子で巡り歴史や自然を学ぶ。また、中部高地の縄文文化を広く情報発信する。	３
旧林家住宅保存改修事業	・国指定重要文化財の建物を保存し、安全に公開・活用するための改修を行う。	３，０００
指定文化財保護事業	・市指定文化財「小口薬師堂本堂」の外壁修理への補助を行う。	５３

第１０款　第４項　第８目　塩嶺野外活動センター費　［予算書　Ｐ132～Ｐ133］

【生涯学習活動センター】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
塩嶺野外活動センター費	・塩嶺野外活動センター等の管理を行い、青少年の健全育成と市民の憩いの場としての活用を図る。	５，２３２

第１０款　第５項　第３目　スポーツ振興費　　［予算書　Ｐ132～Ｐ133］

【ｽﾎﾟｰﾂ振興課】

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算額
スポーツきっかけづくり事業	各種スポーツ教室や家族で体験できるファミリースポーツプログラムを実施し、スポーツを気軽に行うきっかけづくりの場や情報を提供し、市民ひとり１スポーツや生涯スポーツの実現をめざす。 ・おかやﾌｧﾐﾘｰｽﾎﾟｰﾂﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ委託料　507 千円 ・スポーツ教室委託料　2,657 千円	３，１６４
おかやキッズ運動大好き事業	市内全小学校１．２年生の体育授業への専門指導員の派遣と小学校の教職員を対象とした指導者講習会を開催する「体力アッププログラム」を実施するとともに、ステップアップ事業として、運動が苦手な小学生を対象とする「体育塾」も実施し、遊びを通じた運動能力の向上と運動が好きな子どもの育成を図る。 ・おかやｷｯｽﾞ体力ｱｯﾌﾟﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ委託料　1,424 千円 ・小学生体育塾委託料　816 千円	２，２４０
おかやスケート振興事業	各種スケート教室や氷上運動会などを実施し、岡谷のスケート文化を継承しながらスケートのまちづくりを推進する。 ・需用費　192 千円 ・スケート教室委託料　2,939 千円 ・会場借上料　650 千円	３，７８１